



健康的な天然木材の床

フローリング・ニュース

発行所：一般社団法人日本フローリング工業会
編集責任者：広報法務委員長 石本勝範

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F
TEL 03-3868-0971 FAX 03-3868-0972 <http://www.j-flooring.jp/>

一般消費者への啓蒙も重要



平成28年度通常総会を開催



(一社)日本フローリング工業会は平成28年度通常総会を3月4日に東京都内で開催した。



挨拶をする久津輪会長＝平成28年3月4日午後3時36分

久津輪会長挨拶

今年の干支である申年、来年の酉年は株式相場の乱高下があるようだ。株が下がると景気が悪くなるような雰囲気となり、住宅投資にお金を使わないのではないかと懸念している。景気が悪く、家が建たないときに我々がすべきことが、安心・安全なフローリングの製造と施工、フローリング業界の浮揚にも結びつくはずだ。当会はプロユーザー向けの取り組みが多いが、昨年は林野庁の補助事業で一般ユーザーを募る企画を実施した。会員の中島工務店のモデルハウスを建設する過程で、フローリングを張るワークショップを行った。オープニングセレモニーで展示された写真を見ると、エンドユーザーが熱心に床を張り、オイルを塗り、寝転がっている風景があった。こういう啓蒙の仕方に感心した。

平成27年度事業報告の概要

平成27年度はフローリング張り標準仕様書改正に伴う講習会を東京・名古屋・大阪の3会場で実施。また、木質フローリング検討懇話会の活動として林野庁の「木づかい協力業者による木材利用の促進事業」を活用し、中島工務店のモデルハウスを用いたワークショップ、岐阜県中津川市の加子母地区へのバスツアーなどを行い、都市と地方を木材で結びつける試みにも着手した。

平成28年度事業計画の概要

平成28年度は引き続き合同 PR をはじめとした木質フローリングの普及活動を行うほか、次回の JAS 改正に備えて会員企業の声を集めるなどの取りまとめを行う JAS 改定準備委員会の設置を計画する。



合同 PR 検討委員会活動報告

平成 28 年 3 月 4 日（金）・5 月 26 日（木） 開催

趣意書のテーマ、アンケート用紙、訪問結果取りまとめ表等を 3 支部共通化へ



一般社団法人 日本フローリング工業会は、関東、中部、近畿の 3 地域で毎年各地域のフローリング協会と合同で官公庁をはじめ設計事務所や諸団体等へ木質フローリングの PR 活動を工業会の重要な活動として行っている。

合同 PR の本来の趣旨は、生産部会が主体性をもち共通のテーマやスローガンを策定し、訪問計画を立てて各支部がその運営にあたり、PR 活動の報告や問題点などを 3 支部で共有して今後の PR 活動に反映することである。

合同 PR を意義あるものにするため、石本合同 PR 検討委員長のもとに久津輪会長、佐藤生産部会長、5 人の各支部長、広報法務委員会全委員、事務局がメンバーとなり、平成 28 年 3 月 4 日と 5 月 26 日の 2 回にわたり合同 PR 検討委員会を開催した。

その結果、平成 28 年度の合同 PR 趣意書は中部支部で使用したテーマを明確にしたものが良いことになり、関東、関西支部もこれに準拠することを検討するとなった。また、訪問先アンケート用紙、訪問結果取りまとめ表及び、訪問時に使用する「フローリングの清掃・保守管理について」は中部支部使用のもの、アポ取りマニュアルは関西支部使用のものに統一することになった。さらに、これをもとに行われる今年度の PR 活動の結果を取り纏めて 12 月理事会において、佐藤部会長から報告することになった。

JAS 改正準備委員会活動報告

平成 28 年 6 月 28 日（火）開催

JAS 改正準備委員会が農水省中熊補佐と議論、次回改正時期は平成 30 年 1 1 月

平成 28 年 6 月 28 日（火）に次回の JAS 改正に向けた工業会の意見集約を行うため農林水産省の JAS 担当中熊補佐の出席を要請して、JAS 改正準備委員会を開催した。

1) 農水省中熊補佐の挨拶：

- ・農水省では省を上げて輸出の強化に取り組んでいる。JAS 規格を活用した輸出の強化、競争力の強化につながる提案を期待している。
- ・今後の改正スケジュールとしては、平成 30 年 1 1 月をメドに JAS 改正作業を進める。独立行政法人農林水産消費安全技術センター（FAMIC）から夏以降アンケート送付、今年度内にヒヤリング実施。平成 29 年度に原案作成委員会開催。

2) JAS 改正準備委員会提出の工業会会員意見について参加各社から説明

①フローリングボードの 1 等、2 等についてナラのように節があるほうが好まれる事例もあるので再検討してほしい→再検討の内容を議論できるように具体的に提案してほしい。

②国交省の A、B、C 種は使用用途に応じて使用できるメリットがあるので、複合フローリング 1、2、3 種を復活できないか→前回の JAS 改正で無くしたばかりなので、必要を証明するデータ等の提出がないと検討は難しい（中熊補佐）。

③針葉樹材を節に関係なく幅広く使えるように規格緩和をしてほしい。→具体的に議論できるように提案してほしい。

④フローリングの施工効率向上を目的とした穿孔加工をした規格を JAS にいれてほしい。→付加価値向上を図る JAS 規格の軽微な変更は歓迎。要望してもらえれば対応可能。

3) 委員会取りまとめ

・今回は、意見提出 4 社と会員数に比べて少ないので、工業会の意見集約とはならない。7 月末を目途にもう一度アンケートを実施して、内容検討の上、結果を 12 月理事会に報告する。



2020年の東京オリンピック関連施設の木材調達基準公表される

合法木材も条件付きで対象

2020年東京オリンピック関連施設の木材調達基準が2016年6月13日に公表されました。木材調達基準のポイントは次の通りです。

- ・対象となる木材：製材、合板、フローリング、家具用木材等
- ・木材調達基準
 - ①伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令等に照らして手続きが適切になされたものであること
 - ②中長期的な計画又は方針に基づき管理経営されている森林に由来すること
 - ③伐採に当たって、生態系の保全に配慮されていること
 - ④伐採に当たって、先住民族や地域住民の権利に配慮されていること
 - ⑤伐採に従事する労働者の安全確保が適切にとられていること
- ・FSC、PEFC、SGECによる森林認証材は①～⑤を満たし対象
- ・合法木材証明材の場合には、直近の納入先に対して①～⑤を証明する書類（証明書）を交付し、納入ごとに証明書の交付を繰り返す。
- ・サプライヤーは国産材を優先的に採択する。

木材の調達基準確認証明書（事例1）

2016. 〇〇. 〇〇
〇 〇 森林組合

AB株式会社へ納入した木材については、次の通り木材の調達基準を満たしていることを確認したので、これを証明する。

- ①林野庁の合法木材認定番号
- ②森林経営計画認定番号
- ③希少な動植物はいない
- ④地域住民の伐採に対する要請はない
- ⑤伐採従事者の安全装備の着用

木材の調達基準確認証明書（事例2）

2016. 〇〇. 〇〇
A B 株式会社

BC株式会社へ納入した木材については、次の通り木材の調達基準を満たしていることを確認したので、これを証明する。

- ①林野庁の合法木材認定番号
- ②森林経営計画認定番号
- ③希少な動植物はいない
- ④地域住民の伐採に対する要請はない
- ⑤伐採従事者の安全装備の着用

新規入会会員の紹介

（平成28年3月4日の理事会承認）

三光建販株式会社は平成28年3月理事会で正会員として入会が認められました。

三光建販株式会社

住 所：東京都江東区大島3-27-24

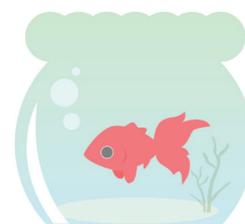
T E L：03-3684-0032

代 表 者：代表取締役社長 瀬田 明宏

業 務 内 容：床施工、リフォーム

所 属 部 会：施工流通部会

所 属 支 部：関東甲信越支部



関東甲信越支部だより

田伏 大伸 関東甲信越支部（マルコー株式会社）

関東甲信越支部長を拝命し2年目になります。振り返ると前支部長であられる明治リビング(株)川鍋社長様及び支部会員の皆様のおかげをもちまして運営できること感謝申し上げます。

少し支部の状況をご報告させていただきたいと思えます。2015年春に第一回の支部会を開催しPR活動とフローリング張り標準仕様書説明会について会員一丸となって議題に対して目標達成致しました。1年目の支部会の時間の流れの速さを感じました。今年2期目の支部会のテーマとして施工流通部会の幹事支部になっております。支部会員の皆様のお力をお借りし会の発展につながっていけるよう努力して参りたいと思えます。今回、開催場所は【北海道】です。先般、会員皆様にご通知させていただいておりますが是非大なるお力をお借りしご参加お待ちしております。

さて、当関東地区における建設状況をみてみますと、新規住宅案件においては一段落感がありこれから再開発案件の着工がスタートし実質内装床工事は1年2年後の様子です。

またオリンピック関連の情報はまだ実態がつかめず感覚だけが一人歩きをしているような感じです。唯一、新国立競技場のみメディアにとりあげられたのみではないのかなと感じます。ちなみに当社は江東区新木場にありますがオリンピック関連のフォローの風はまだありません・・・今年、商品へのこだわりと将来への技術の継承・技能士の育成が大切ではないのかと感じます。それが将来の工業会の武器にもなると思えます。

今年半期1～6月まで世界経済・建設業界におけるさまざまな状況が起きており今もなお継続中な出来事もございます。最近では、英国のEU離脱の報道により大きなうねりが発生しました。一寸先は〇〇とありますが、工業会会員の皆様と情報の共有化・検討・実行できる体制づくりを目指していきたいですね。

この関東甲信越支部において、【人に感謝・人に感謝】を志し、感謝・感動の感は下に心と書きます。心で支え感じとる字だと思えます。チームで支えががんばっていきましょう。

ひとこと

渡部 泰 関東甲信越支部（江戸川木材工業株式会社）

去る7月8日(金)に日本フローリング工業会とフローリング協会合同で、各自治体の教育委員会を主要な訪問先としてフローリングのPRを行ってきました。

10班に分かれて東京・千葉・埼玉・神奈川を訪問し、フローリングの良さとメンテナンスの重要性を説明させていただきましたが、当班が訪問した先では『改修後の床は全て長尺シートに貼り替える』や『予算が限られているので、難しい』という意見がありました。話を聞くと、フローリングの方が良いことは皆さんわかっているのですが、非常に残念です。木材の利用を国は推奨していますが、現場や予算とのギャップはまだ大きいようです。

定期的なメンテナンスや点検に関しては、ほとんどが『行っていない』という回答でした。各施設に任せっきりで特に把握していないというのが現状のようです。

既存の床を良い状態で使用していただくためには、メンテナンスの重要性を広く発信していく必要があると感じました。

また、体育館の床を長尺系にする施設が増えてきているという話も良く耳にするようになりました。

こんな話を聞くと改めてフローリングの長所が十分にアピール出来ていないのだろうな。と考えさせられます。

これからオリンピック・パラリンピックの施設計画が急ピッチで進んでいくと思いますが、木材を積極的に採用していただき、フローリングの良さも見直されるのを願うばかりです。

そして、『床はやっぱり木がいいね!』と言ってもらわないとね!

職人不足は心配ですが.....



●広報法務委員

委員長 石本 勝範

委員 松原 輝和 委員 矢野 伸和

委員 佐藤 正明 委員 當舎 弘造

●会員動向 平成28年7月25日時点

正会員 54社

賛助会員 21社

合計 75社

●告知板

9月29日(木) ...平成28年度施工流通部会総会

11月8日(火) ...平成28年度生産部会総会

編集後記

今年度は中国ショックや消費税増税延期に加え、突然の英ショックなど経済の大波がフローリング業界にも襲ってきて会員の皆様が大変です。フローリングニュースを編集するに当たって、それらの大波を認識しつつ、出来るだけ会員の皆様の参考となるような記事を編集したいと思っております。引き続き手作りのニュースをお届けします。

